

# 極域のオープンデータ・オープンサイエンスに関する研究集会

日時： 2018年(平成30年)10月5日(金) 13:00 ~ 18:20

場所： 国立極地研究所 3Fセミナー室

主旨：オープンデータ・オープンサイエンスに関する最新の国内外の状況を踏まえ、極域科学に関連するデータ活動の情報交換を行う。特に極域関連データベースやデータシステム、及びその公開手法、またデータ共有(相互利用)・データ出版・データ引用・データジャーナル等について、現状と課題・問題点や将来計画、極域科学研究の進展に望まれる機能等についての議論を行う。また、極域の多様なデータセットを利用したデータサイエンスの研究成果について紹介し、極域科学の各分野におけるデータ関連研究の現状について相互理解を深めると共に、近未来の展望について意見交換をする。

## プログラム(案)

(所属：記載無しは、全て極地研)

13:00 ~ はじめに：集会の主旨と概要

金尾政紀

13:05 - (各10分、質疑応答を含む)

進行：門倉 昭・金尾政紀

- 極域環境データサイエンスセンターの活動内容
- 極域データの国際連携と学術データベース
- 大学間連携データベース (IUGONET)
- 北極データアーカイブス (ADS)
- 南極昭和基地大型大気レーダー (PANSY)
- 統合データベース構築の準備状況
- 岩石資料アーカイブの現状
- 隕石資料アーカイブの現状
- 生物資料データベースの現状

門倉 昭  
金尾政紀  
田中良昌  
杉村 剛  
西村耕司  
田中良昌  
外田智千  
山口 亮  
高橋晃周

(休憩)

15:00 - (各10分、質疑応答を含む)

進行：田中良昌・西村耕司

- 昭和基地宇宙線観測データ、リアルタイム・アーカイブシステムの構築  
(DS公募型共同研究課題)

加藤千尋(信州大)・片岡龍峰

- 宙空関連データ (EISCAT・光学観測)
- 大気モニタリングデータ公開の現状
- 海洋生態系モニタリングデータ公開の現状
- NICTにおける電離圏データについて
- 気象庁の観測データについて
- 国土地理院における南極地域観測とデータ提供
- 海上保安庁が取得したデータについて
- 極域科学データライブラリーシステム

小川泰信  
後藤大輔  
高尾信太郎  
前野英生 (NICT)  
荻原裕之 (気象庁)  
藤井 稔 (国土地理院)  
渡辺健志 (海上保安庁)  
岡田雅樹

(休憩)

17:00-18:20 (各10分、質疑応答を含む)

進行：金尾政紀

- 全地球電気回路研究のための地上大気電場観測データのデータベース化  
(DS公募型共同研究課題)
- インフラサウンドデータのリアルタイム・アーカイブシステムの構築  
(DS公募型共同研究課題)
- JARE データの扱いについて
- アーカイブ室資料データベース・  
情報図書室学術情報レポジトリ
- データジャーナル (Polar Data Journal)
- 総合討論 (30分程度、今後の展望、意見交換、等)

源 泰拓 (東京学芸大)  
山本真行 (高知工科大)  
門倉 昭  
小達恒夫  
門倉 昭

18:30-19:30

懇親会 (於：データサイエンス棟1F、会費1,000円)